

寺泊地域ふるさと創生基金事業年度別事業内容

年 度	予算額	事 業 名	事 業 内 容
18年度	千円 3,140	みんな集まれ！ てらどまり 渚ウェーブ	市内全域から広くボランティアの参加を募り、地域の住民と協働して海岸の一斉清掃を実施し、清掃終了後に同日開催される観光協会、商工会共催の観光イベント「寺泊観光まつりとよさこいフェスティバル」に参加していただき、共に楽しむことにより、市民同士の交流とコミュニケーションの促進を図る。 内容：海岸ボランティア清掃 交流イベント
19年度	3,140	海の寺泊探訪フェスタ「寺泊、みつけた!!2007」	海に関わる「歴史・文化」、「暮らし・産業」を紹介するとともに、海での体験イベントを通しながら、寺泊の魅力や将来像を内外にアピールする。あわせて、新しい魅力スポットの発掘に努める。
20年度	2,870	寺泊の魅力満載「海だ!! 魚だ!! てらどまり2008」	海に関わる歴史・文化・暮らし・産業などを紹介。海での体験イベントの実施。
21年度	2,960	寺泊の食材PR事業	「寺泊＝海・魚」のイメージに加え、内陸部の地域資源である「農」を発信する。また、地産地消の取り組みをとおして安心安全な食材の産地としての寺泊をPRする。
		てらどまりの魅力満載！ 地域PR用DVD製作事業	寺泊地域の歴史や伝統文化・芸能、産業などを、広く内外に紹介するため、PR用DVDの製作（四季の営み、産業・自然・歴史・伝統文化・芸能・イベントなど）を行う。（材料収集とデータ化まで。）
22年度	2,860	寺泊の現在の姿を残すDVD製作事業（継続）	寺泊地域の現在の姿を記録映像として保存し、活用することで、地域住民や寺泊出身者に地域の愛着を深めてもらい、地域の魅力の伝承・継承を図った。
		地域を担う子どもたちへの寺泊特産品試食会	地域の将来を担う子どもたちに、地元で取れた農産物や海産物を使った料理を振る舞い、「安心・安全・美味」をPRし、地産地消への理解を深めるチラシを配布した。
23年度	2,710	寺泊出身者によるふるさと講演会	寺泊出身の著名人による講演会を開催し、ふるさとに対する思いを語ってもらうことにより、地域住民が地域の魅力を再発見し、地元への愛着をさらに強める。
		灯籠コンテスト	「灯り」をきっかけとして、寺泊地域内の住民、各団体をはじめ、市内各地域とのつながり・交流を深める。
		地産地消推進事業	寺泊食材を使った料理を提供し、「安全・安心・美味」の寺泊の食材を通して、地産地消や環境保全について理解を深めてもらう。
24年度	2,910	コミュニティ市場の開設	生産量や形状などを理由に出荷できない野菜や魚介類、手作り工芸品、農水産加工品の販売や情報交換の場を設置して、地域内全体の小規模生産者のコミュニティづくりを支援する。
		灯籠コンテスト	「灯り」をきっかけとして、寺泊地域内の住民、各団体をはじめ、市内各地域とのつながり・交流を深める。
		地産地消推進事業	保育園児に寺泊産の食材を使用した料理を提供し、保護者や栄養士に「安全・安心・美味」の寺泊産の食材を通して、地産地消や環境保全、寺泊産食材について理解を深めてもらう。

25年度	2,890	ゆるキャラ製作事業	自然や風景、観光、産業、歴史など「寺泊」をイメージしたキャラクターを作成する。
		コミュニティ市場運営事業	生産量や形状などを理由に出荷できない野菜や魚介類、手作り工芸品、農水産加工品の販売や情報交換の場を設置して、地域内全体の小規模生産者のコミュニティづくりを支援する。
		灯りがつなぐ地域の絆事業	「灯り」をきっかけとして、寺泊地域内の住民、各団体をはじめ、市内各地域とのつながり・交流を深める。
		地元食材の魅力PR事業	寺泊の食材が「安全・安心・美味」であることを地域住民に知ってもらい、地産地消や環境保全について理解を深めてもらう。
26年度	2,720	寺泊の新鮮力まりん製作事業	寺泊地域のイメージキャラクターに決定した「海の妖精 まりん」の着ぐるみを製作して、地域内の各種行事で活用することで、地域への愛着や一体感の醸成を図るとともに、地域外の行事にも参加して、寺泊地域のPR活動を幅広く行い、地域振興を図る。
		創作灯籠コンテスト	「灯り」をきっかけとして、寺泊地域内の住民や各団体をはじめ、市内各地域とのつながり・交流を深める。
		地元の料理づくり体験事業	地元の料理づくりを通じて、寺泊の食材が「安全・安心・美味」であることを知ってもらい、地産地消や環境保全、寺泊産食材について理解を深めてもらう。
		コミュニティ市場支援事業	生産量や形状などを理由に出荷できない野菜や魚介類、手作り工芸品、農水産加工品の販売や情報交換の場を通じて、地域内全体の小規模生産者のコミュニティづくりを支援する。
27年度	2,410	輝きと絆で未来へ～合併10周年事業～	合併10周年を迎えて、寺泊地域内の住民、各団体をはじめ市内各地域とのつながり・交流を深め、さらなる地域の活性化を図る。
		地域食材の活用事業	寺泊地域の食材を活用した地元の料理づくりを体験してもらい、寺泊産食材のPRとともに地産地消に理解を深めてもらう。併せて、新たな地元料理を検討していく。
		寺泊の新鮮力まりんPR事業	寺泊地域に誕生したイメージキャラクター「海の妖精 まりん」を通じて、これからは担う子どもたちに地域への愛着や一体感を醸成するため、グッズを配布してPRする。
		コミュニティ市場支援事業	生産量や形状などを理由に出荷できない野菜や魚介類、手作り工芸品、農水産加工品の販売や情報交換の場を通じて、地域内全体の小規模生産者のコミュニティづくりを支援する。

年 度	予算額	事 業 名	事 業 内 容
28年度	2,400	ようこそ寺泊へ！ 新たなDe愛事業	<p>人口減少が進む寺泊地域において、出逢いの機会を求め、未婚者に新たな出逢いと交流の場を提供し、少子化問題の一助となるべく寺泊地域への転入を目指す。</p> <p>①LoveビーチDe愛（8月7日） 募集：60名 参加：45名（男性24名、女性21名）</p>
		子どもが繋ぐ、海 と里の体験事業	<p>次代を担う子どもたちが、内陸部と海岸部で体験できる遊びや歴史・伝統を学び、故郷への愛着を醸成することを目指す。（対象：寺泊・大河津小学校児童）</p> <p>①浅瀬で海洋生物探索（8月20日） 募集：親子20組 参加：親子5組12名</p> <p>②魚釣り体験（9月17日） 募集：30名 参加：31名</p> <p>③昔ながらの農家仕事体験（12月4日） 募集：30名 参加：14名</p> <p>④里山の雪体験（2月18日） 募集：30名 参加：15名</p>
		地域食材の魅力PR 事業	<p>寺泊地域自慢の鮭などの食材を活用した料理づくり体験をしてもらい、寺泊産食材の地産地消に理解を深めてもらう。</p> <p>また、他地域から参加者を招いてその地域自慢の食材とコラボした料理づくり体験を行い、食材を通じて寺泊地域の魅力をPRしていく。</p> <p>①塩引き鮭づくり体験（10月22日） 募集：30名 参加：30名</p> <p>②鮭料理づくり体験（11月20日） 募集：20名 参加：16名（川口地域より）</p>

年 度	予算額	事 業 名	事 業 内 容
29年度	2,400	新たなDe愛事業	<p>婚活事業で実績のある「寺泊総合型スポーツクラブてらスポ！」に事業委託し、スポーツを中心とする活動を通じて新たな出逢いと交流の場を提供する。</p> <p>①☆寺泊De愛ましょう☆ De愛（8月6日） 募集：60名 参加：47名（男性24名、女性23名） マッチング：7組</p>
		ふるさと講演会事業	<p>株式会社「脳の学校」代表で医学博士の加藤俊徳氏を招いての講演会。</p> <p>①ふるさと講演会（9月24日） 「認知症を予防する！寺泊から生まれた脳の強化法」 定員：540名 参加：521名</p>
		地域の魅力PR事業	<p>地元食材を活用し、1回目の塩引き鮭づくり体験は近隣地域から参加者を募り、2回目の塩辛づくり体験は地域内の参加者から体験してもらう。 また、つわぶきの開花時期に合わせて史跡や寺院等で行うイベントに協力し、観光振興の相乗効果を図る。</p> <p>①塩引き鮭づくり体験（11月11日） 募集：30名 参加：29名</p> <p>②鮭料理づくり体験（11月19日） 募集：20名 参加：19名（川口地域より）</p> <p>③つわぶき祭（10月21日、22日、28日、29日） →あかね通りの会へ運営委託 ⑦良寛ゆかりの茶室 密蔵院でおもてなし ・密蔵院良寛茶会（10月21日、22日） →寺泊茶華道会 ・お抹茶とお菓子のおもてなし（10月28日、29日） →正徳館高校茶道部と与板石州流有志の皆様 参加：（4日間：179名）</p> <p>④『北前船寄港地・船主集落』ストーリーの構成文化財を巡る（10月22日、29日） ・講師 鳴海忠夫氏 （新潟県文化財保護指導委員） 参加：（2日間：30名）</p> <p>⑧神社仏閣巡り（10月21日、22日、28日、29日）</p>
		海と里の親子体験事業	<p>海岸部では、海洋生物探索や地引網体験をしてもらう。 内陸部では、地区の伝統や農家作業を学んでもらう。</p> <p>①浅瀬で海洋生物探索（8月26日） 募集：親子20組 応募：親子6組13名 （波が高く濁りがあり中止）</p> <p>②昔ながらの農家仕事体験（12月3日） 募集：30名 参加：22名</p>